

12月のモロッコの政治情勢等を、当地報道を中心に以下のとおりまとめました。要人往来については末尾の一覧表をご覧ください。

なお、当政治月報は当月中にメディアで多く取り上げられた話題をその都度記録したもので、これらニュースについての当館及び日本政府の立場を何ら反映するものではありません。

【主な出来事】

- ◎ バハ国務大臣の死去(12月7日)
- ◎ JETROラバト事務所開設記念式典(12月18日)
- ◎ 2015年予算の可決(12月23日)

<内政・政局>

1 バハ国務大臣の死去

(1)7日夕刻、アブドゥラ・バハ国務大臣は、ブズニカ(ラバトとカサブランカの中間の海沿いの街)で列車にはねられて死亡した。享年60歳。

事故現場は、11月に野党・人民勢力社会主義者連合(USFP)反主流派の領袖だったアハメッド・サイディ氏が水死した場所の近く。

(2)バハ国務大臣はベンキラン首相の若い頃からの共闘者で、同首相の右腕と目されてきた。ベンキラン首相や公正と発展党(PJD)が受けた精神的なダメージは大きいと見られている。

2 サッカー・クラブワールドカップ(TOYOTA 杯)開催

(1)10日から20日まで、FIFA主催のクラブワールドカップが、ラバトとマラケシュのスタジアムで開催された。レアル・マドリッドが優勝。

(2)2014年秋に改修工事が終わったムーレイ・アブドゥッラー王子スタジアム(ラバト)の芝の排水に不具合があり、雨天下の試合中にフィールドが水浸しになった。スタジアム運営側の対処もスポンジで水を集めて空き缶に絞るという原始的なもので、それが試合の中継を通して世界中に放送されたことがスキャンダルとなった。(2015年1月、内務省の調査の結果を受けて、ウヅジヌ・スポーツ・青年大臣が辞任した。)

3 2015年予算案の可決

(1)23日、衆議院は2015年予算案を179対75の賛成多数で再可決した。参議院(野党多数)が可決していた修正案の多くは衆議院(与党多数)が再び否決した。

(2)これによって2015年予算が年内に成立した。

4 補助金特別会計の政策決定会議

- (1) 26日、ベンキラン首相が議長を務める補助金特別会計政策決定会議が開かれた。
- (2) 同会議の発表によると、2013年末に425億DHだった補助金特別会計支出は、2014年末には336億DHに減少した(21%減)。ガソリンと一部重油製品への補助金廃止や、他の石油製品補助金の物価スライド制導入が奏功した。
- (3) 2015年の同予算はさらに減額され230億DHが計上されていることから、政府はさらなる補助金改革を進める必要がある。

<外交・国際関係>

5 姚雲竹(Yao Yunzhu) 中国人民解放軍・軍事科学院世界軍事研究部長のモロッコ訪問

10日から13日まで、姚雲竹・中国人民解放軍・軍事科学院世界軍事研究部長(少将)がモロッコを訪問、アルーブ・ブシャイブ王国軍総監兼南部方面司令官(中将)と会談した。

6 グローバル・テロ対策フォーラム(GCTF)外国人テロ戦闘員問題対策作業部会の開催

15日から16日、マラケシュで、モロッコ政府とオランダ政府の共催により、グローバル・テロ対策フォーラム(GCTF)外国人テロ戦闘員問題対策作業部会の発足会合が開催された。

7 石毛JETRO理事長のモロッコ訪問

17日から19日まで、石毛 日本貿易振興機構(JETRO)理事長がラバトを訪問した。18日にJETROラバト事務所開設記念式典を開催したほか、ベンキラン首相、ラバハ設備・運輸・ロジスティクス大臣等と意見交換した。

8 JETROラバト事務所開設記念式典

(1) 18日、ラバト市内ホテル会議場で、JETROラバト事務所開設記念式典が実施された。石毛理事長他JETRO幹部、エル・アラミ商工業・投資・デジタル経済大臣、ブーアイダ外務・協力省特命大臣、ブーハドゥード商工業・投資・デジタル経済大臣付中小企業・インフォーマルセクター統合担当特命大臣、ベンラフディル モロッコ投資促進庁(AMDI)長官、マアフィリ Maroc Export 長官他が出席した。

(2) 式典に続けて日・モロッコ投資セミナーが実施され、両国の官民関係者8名が日本企業によるモロッコ投資を巡る様々なテーマについてプレゼンテーションを行った。

<モロッコ要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
11月下旬から 2015年1月 初旬まで	ア首連、トルコ	モハメッド6世国王	私的滞在
12月10日-	イタリア	ブーアイダ外務・協力担当 特命大臣	ピステッリ外務副大臣と の政治協議
12月16日-	ベルギー	メズアール外務・協力大臣 他	EU・モロッコ連合評議会
12月22日	ガボン	ハッサド内務大臣、 ドライス内務担当大臣	人的開発投資協力に関 する枠組み協定署名

<外国要人のモロッコ訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
12月1-2日	エルサルバドル	レイエス議会議長	ベンキラン首相、タルビ・ アラミ衆議院議長、ビア ディラ参議院議長と会談
12月4日	英国	フレイザー外務次官	メズアール外務・協力大 臣と会談
12月9日	ポーランド	ボルセヴィッチ上院議長	タルビ・アラミ衆議院議 長、メズアール外務・協 力大臣と会談
12月11-12日	EU	ハーン欧州近隣政策・拡大 交渉担当欧州委員	メズアール外務・協力大 臣、ブーサイド経済・財 政大臣と会談 開発援助案件署名(教 育、ガバナンス、太陽光 発電)
12月14-15日	スペイン	ハイメ・ムニョス・デルガド 海軍大将	ブシャイブ王国軍総監兼 南部方面司令官と会談
12月17-19日	ブルガリア	ポポヴァ副大統領	ベンキラン首相、両院議 長等との会談

(了)